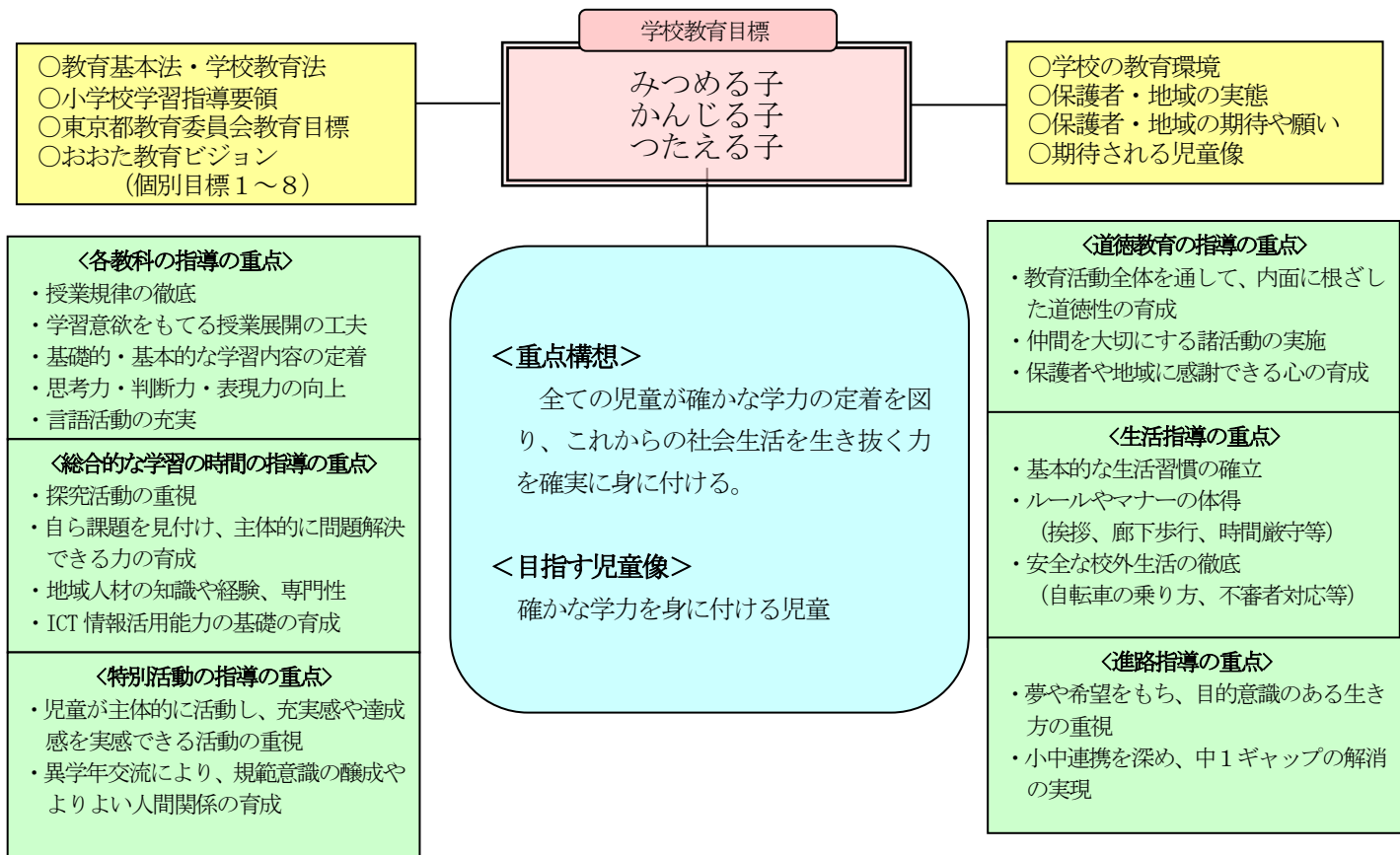


令和7年度 萩中小授業改善推進プラン「全体計画」



本校の授業改善に向けた視点				
授業体制・形態の工夫	校内研修の充実	学力調査の活用	目的意識のある学習活動	保護者との連携
○教員の専門性を生かした授業展開の工夫 ・交換授業など、教科や単元による指導体制の充実 ○授業方法の工夫・改善 ・少人数学習熟度別学習や補習などによる個別指導の充実 ・ICTの積極的活用 ○授業内容の工夫、改善 ・教えることと考えさせることの明確化	○教員の経験年数等に左右されない授業力向上を図る組織的な研修 ・分科会を中心とした事前研究による指導案検討の充実 ・研究授業・研究協議による授業改善 ・基礎、実技、伝達研修を通し、教員として必要な力の体得	○学力調査結果により、児童の課題を明確にし、分析に基づいた重点的な指導 ・授業の導入、展開、終末の工夫 ・東京ベーシックドリル診断テストの活用	○将来に対する夢や希望をもたせ、意欲をもって学習に取り組む姿勢の重視 ○45分間の授業では毎時間、学習のめあてを明確にし、振り返りを行う学習活動	○保護者と連携し、学習習慣の日常化 ○自学自習につながる家庭学習の充実 ・「学年×10+10」の学習時間 ○反復学習の徹底 ○校外学習などでの安全面に配慮した引率